

2026年3月17日

報道関係者 各位

「安全・安心まちづくりセミナーin桐生2026」

開催のご案内

群馬大学理工学部（群馬県桐生市）は、2026年3月20日（金・春分の日）に群馬大学桐生キャンパスで「安全・安心まちづくりセミナー in 桐生 2026」を開催します。

次のパンデミックでも「外出禁止」にならない社会へ——高性能マスク（自由外出マスク）で活動を止めずに感染を防ぐ方法や、AIが街の隅々を見守り犯罪を未然に防ぐ未来のまちづくりについて、第一線の研究者がわかりやすく講演します。講演会後の討論会では、皆さんの疑問や意見も交えながら、これからの桐生・群馬の「安全で自由な暮らし」を一緒に考えます。

オンサイト（現地）開催で、どなたでも無料でご参加いただけます。家族連れの方も大歓迎です！



1. 開催概要

- 日時：2026年3月20日（金・春分の日）13:00～17:00
- 場所：群馬大学桐生キャンパス 同窓記念会館
- 参加費：無料
- 主催：群馬大学大学院理工学府 社会安全・知能計測研究室
- 後援：桐生市、桐生商工会議所、みどり市、伊勢崎市、NPO e自警ネットワーク研究会
（依頼中）太田市、前橋市
- 助成：桐生市「まちの中に大学があり、大学の中にまちがある」推進協議会助成事業

2. プログラム

【セミナー（第一部）：基調講演（13:00-15:00）】（各講演20分＋質疑応答10分間）

- 藤井 雄作（群馬大学大学院理工学府 教授）「次のパンデミックで『外出禁止』はいらない！ ～マスク1つで家族と街を守る、新しい暮らし方～」
- 吉浦 紀晃（埼玉大学 理工学研究科 教授）「AIにより身近な起きる変化」
- 田北 啓洋（群馬大学大学院理工学府 准教授）「AI技術の発展とe自警カメラへの応用」
- 藤井 雄作（群馬大学大学院理工学府 教授）「街の隅々までAIが見ている世界 ～怖い未来じゃなく、家族が安心して暮らせる街にするために～」

【討論会（第二部）：ポスターセッション要旨発表（15:00-15:30）】

【討論会（第三部）：自由外出マスクで「次の危機に負けない街」を考える（15:30-17:00）】

群馬大学が推進する「自由外出マスク（PAPR for Everyone）」構想が、実用化段階へ大きく前進しています。

最新進捗：2026年1月の群馬大学プレスリリース（<https://www.gunma-u.ac.jp/information/221438>）で、装着時間をネットワーク管理する「Saved Allowance Time（SAT）」指標を導入したシステムがScientific Reportsに掲載。常時着用を強制せず、低リスク時に外せる時間管理型運用を実現し、感染制御と個人の自由を両立する道筋を示しました。

国際展開：2026年8月予定のフィリピン・セブ工科大学との共同実証実験（病院・大学での運用テスト）。低コストPAPRの現地検証を通じて、東南アジアの厳しい感染環境で「ロックダウンなしで社会を回す」仕組みを検証。科研費基盤B（令和7～9年度、交付予定額1,450万円）で社会実装に向けた研究を加速中です。

AI統治との連動：藤井教授主導の国際誌「AI」特集号（<https://www.gunma-u.ac.jp/information/222757>、投稿締切2027年3月）。テーマは「センサーがあふれる社会での信頼できるAI出

力統治 ～プライバシー・監査可能性～」。VRAIO (Verifiable Record of AI Output) でAI出力の透明性を確保し、マスク装着監視データのようなセンシング情報のプライバシー保護を議論。監視社会を避けつつ安全を確保する共通の課題を探ります。

討論では、研究者と参加者の皆さんで、①感染制御と自由の両立可能性、②セブ実験の期待・課題、③AI統治（VRAIOなど）とマスク管理のプライバシー連携、をテーマに活発に意見交換。「自分ならどう使う？」「プライバシーは守れる？」などの声も大歓迎！ 桐生・群馬の未来を一緒に描きましょう。

3. 実行委員会

委員長：藤井 雄作（群馬大学 教授）

委員：太田 直哉（群馬大学 名誉教授）

吉浦 紀晃（埼玉大学 教授）

田北 啓洋（群馬大学 准教授）

▼詳細はこちら

<https://conf.e-jikei.org/SeminarKiryu/2026/>

【本件に関するお問合せ先】

群馬大学大学院理工学府 教授 藤井 雄作 E-MAIL : fujii@gunma-u.ac.jp

庶務係広報担当 TEL : 0277-30-1014

E-MAIL : rikou-pr@ml.gunma-u.ac.jp